

# ICT活用による新しい地域モビリティ(北海道 天塩町)

マイカー空席「見える化」による過疎地の交通課題解決  
天塩町-稚内市間「相乗り交通」プロジェクト

## 【地域の現状と課題】

- ✓ 「病院」など生活インフラが70kmも離れている  
稚内市、クルマで片道1時間(実際の生活圏)
- ✓ 直行する公共交通機関が無い
- ✓ 「バス、鉄道を乗り継ぎ3時間」(日帰り不可)  
→「クルマを運転できない・持てない高齢者」など  
交通弱者にとって、生活が維持困難  
→しかし、公費での増便は財政的に非現実的

## 【ICTによるマイカーの空席「見える化」】

天塩町 → 稚内市のドライブ		稚内市 → 天塩町のドライブ	
2018-01-10 08:15:00 ① 北海道天塩町天塩町 → 稚内市 ② 稚内市 → 天塩町 空席: 300 予約: 1/2	2018-01-10 17:00:00 ① 北海道稚内市 → 北海道天塩町 ② 天塩町 → 稚内市 空席: 300 予約: 1/2	2018-01-11 08:00:00 ① 北海道天塩町天塩町 → 稚内市 ② 稚内市 → 天塩町 空席: 300 予約: 2/2	2018-01-11 12:00:00 ① 北海道稚内市 → 北海道天塩町 ② 天塩町 → 稚内市 空席: 300 予約: 2/2
2018-01-11 08:15:00 ① 北海道天塩町天塩町 → 北海道稚内市 ② 稚内市 → 天塩町 空席: 600 予約: 0/2	2018-01-11 17:00:00 ① 北海道稚内市 → 北海道天塩町 ② 天塩町 → 稚内市 空席: 600 予約: 0/2		



マイカーの空席「見える化」 → 相乗り = 「経済合理性」+「高利便性」 移動インフラ構築

- [利便効果] 従来:1,800~2,930円+宿代:3時間(日帰り不可) → **600~800円・1時間 「時間短縮・低料金」**
- [費用対効果] 従来型追加輸送 約2,620万円/年 → **約120万円/年 「約2,500万円の削減」** (推計)
- [心理的効果]: 高齢者の最大不安「通院」等生活の足 → **不安解消 延べ利用127人** (H29年3月~12月)
- [利用状況]: 同乗利用者の約80%が65歳以上の高齢者 → **町内高齢者(65歳以上)の約11%が利用**

「nottecoが無くなったなら町に住み続けられない」(利用者の声)  
⇒ 必要不可欠なインフラになった

【本町は、総務省「地方公共団体のシェアリングエコノミー活用に係るタスクフォース」構成団体になっています(平成29年度)】